

ユニバーサルデザイン教育推進拠点校としての取り組み

美作市立勝田東小学校

1 はじめに

平成27年度・28年度にかけて、美作市教育委員会より、小規模特認校の指定を受け、特別支援教育の視点を持った学校経営、落ちついた学習環境づくり、どの子にとっても「わかる、できる」授業づくりの研究を進めています。

2. 本年度 本校の研究課題

- (1) 落ち着いた生活・学習環境づくり
- (2) ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり
(子どもたちの全員参加をめざした「わかる・できる」授業づくり)
(特別支援教育の観点を取り入れた授業づくり)

3. 取り組みの実際

(1) 落ち着いた生活・学習環境づくり

生活環境の整備

- 児童玄関のくつそろえ
- トイレのシューズそろえ
- ロッカーの整頓
- 教具や道具の整理整頓
- ルールの明確化
- 一日のスケジュールの表示



ルールの明確化・・・
給食時間の表示・当番の仕事分担表
ぱっと見てわかるように



④ルールの明確化・・・
聞き方、話し方、声の大きさ



ルールの明確化・・・

日直活動の確認

仕事を終えたら、カードを
ひっくり返す。



⑤ 今日一日のスケジュールの表示



学習環境の整備

○教室前面の掲示の工夫

(クラスのめあて・学習規律のみ)

(刺激を少なくする)

○学習時間の表示 (はじまりとおわりの時間を示す)

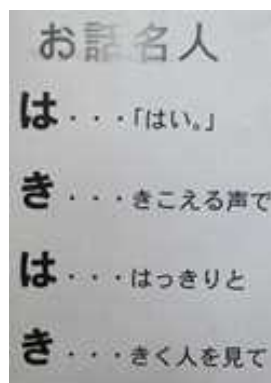
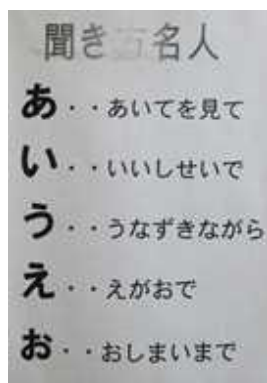
○「今日の学習」のスケジュール表示

○学習のきまりの提示(低学年)

○お話名人・聞き方名人

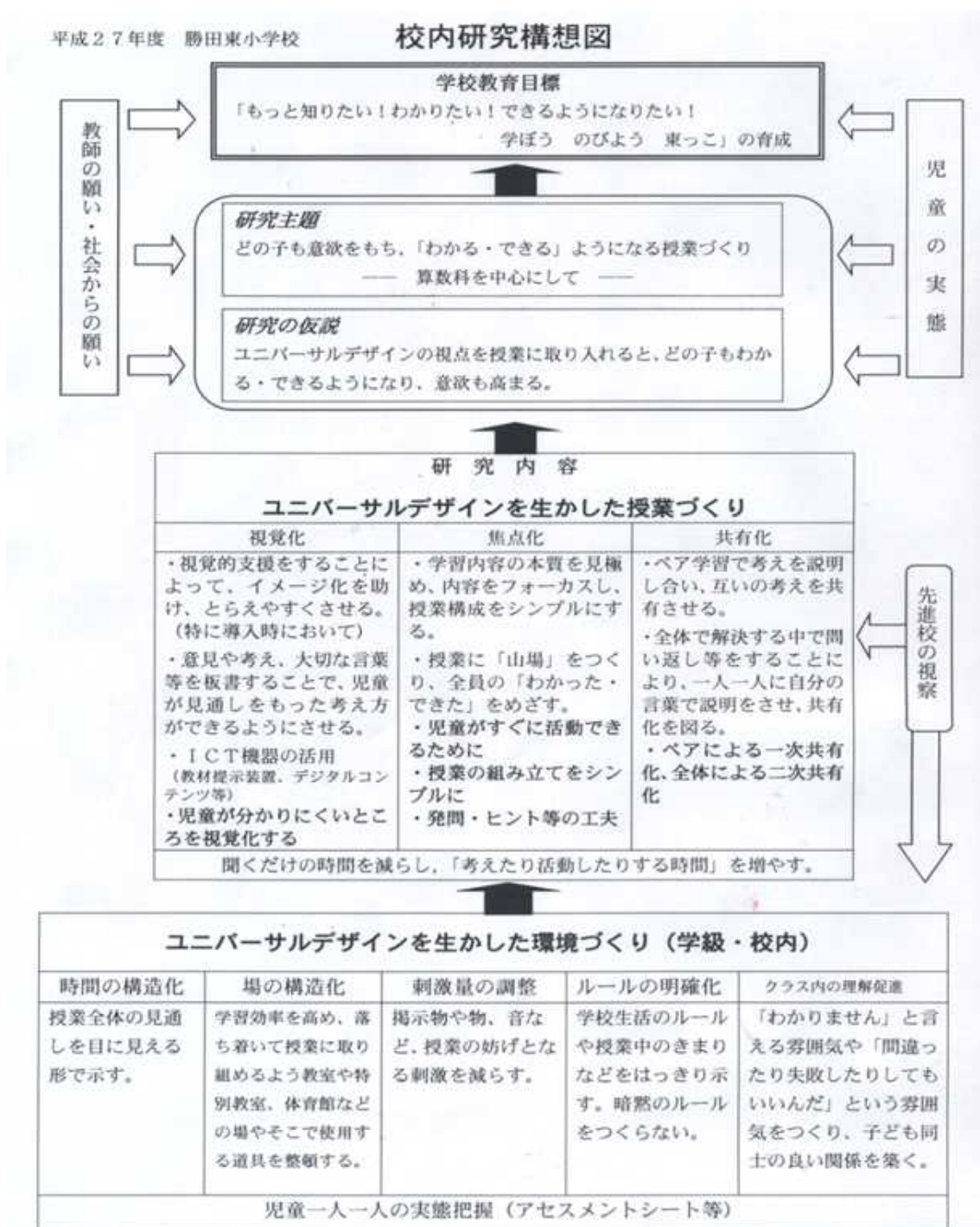


④ 学習のきまりの提示・・・基本の徹底を示す



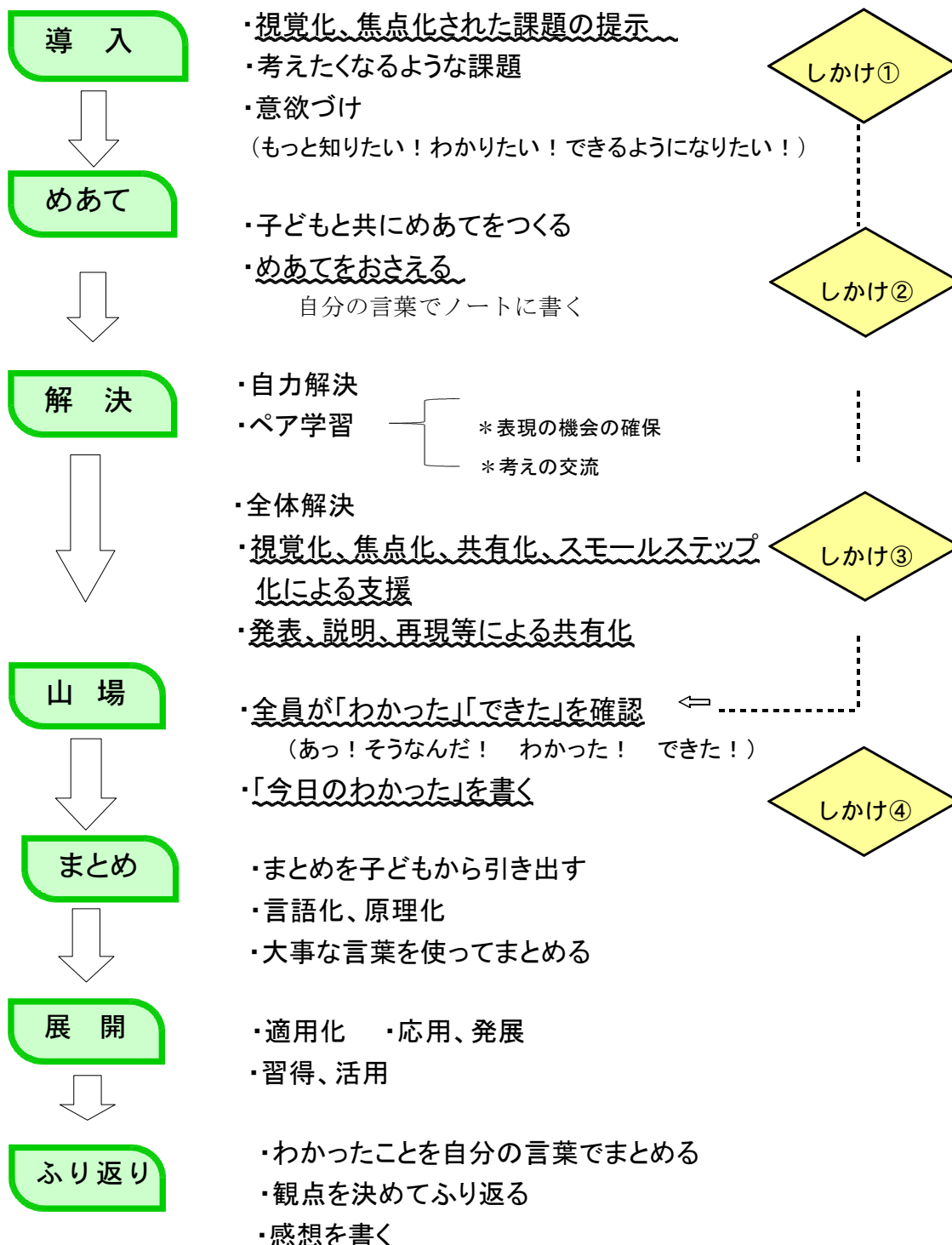
(2)ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり

◇本校の校内研修構想図



◇ユニバーサルデザイン化された授業(勝田東小学校モデル)

1単位時間の流れ



全体を通して ……

- 活動する時間帯を多く取り入れる(動作化、作業化)
- ほめる場面を取り入れる
- 個別の支援を効果的に行う

◇指導法の工夫

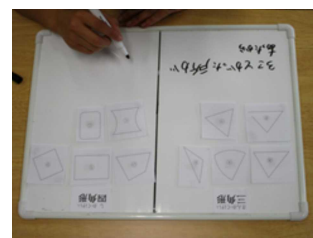
①視覚化・・・情報伝達の工夫として、視覚的な手がかりを効果的に活用する。

- ・導入時に、前時の復習事項や、本時の学習に必要な情報を視覚提示
- ・展開時に、挿絵・写真・カード・図・色でわかりやすく提示
- ・ICT機器の活用



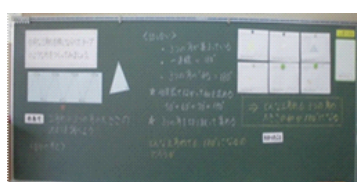
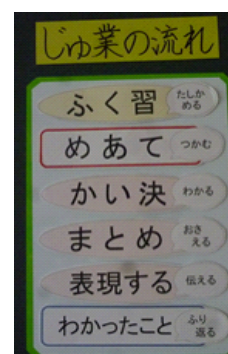
②共有化・・・考えを友だちに伝えたり、話し合い活動をしたりして、全員が授業に参加できる工夫をする。

- ・ホワイトボードの活用や児童の意見の板書
- ・ICT機器の活用
- ・ペア学習やフリートークの設定
- ・話し方や聞き方のスタイルの提示



③焦点化・・・授業のねらい（教えたいこと）をはっきりさせ、
一時間の授業の進め方を工夫する。

- ・一時間の授業の展開の構造化
(めあて・児童の考え・まとめ・ふり返り)
- ・板書をわかりやすく
- ・発問を具体的に
- ・ねらいにせまる作業化・動作化



4. 認め合う関係づくり

どの子も意欲を持ち、楽しく学び合うために、その基盤となる友だち関係づくりも 大切にしています。小規模校の特質を生かした様々な教育活動をすすめています。

- ①全校体育や全校音楽で、共に学びます。
- ②そうじや全校遊びなど、縦割り班で活動します。
- ③きれいな学校めざして、毎週、花壇の手入れや草取りなど美化活動に取り組めます。
- ④ランチルームで一緒に給食を食べる時、おすすめの本の紹介をして、交流します。
- ⑤「花丸コーナー」をつかって、がんばっているところを紹介します。





5. 今後の課題

○授業の構えをつくる

- ・チャイム着席の徹底をはかる。
- ・次の学習の準備をして、休憩時間に入る。
- ・授業のはじめとおわりの号令のあいさつを工夫し、学習の構えをつくる。

○授業の中で、「しかけ」をどうつくっていくかの研究

- ・視覚化を生かした効果的な授業の導入の仕方
- ・めあての作り方
- ・授業の山場を迎えるための共有化の手立て

○自分の言葉で、自分の考えを最後まではっきり発言する習慣づけ

- ・手立てとなる話し方のスタイルの提示
- ・支え合う、教え合う、高め合う学級集団づくり
- ・間違いを大切さにし合う温かい学級集団づくり